



利都建 G 第 333 号

平成 20 年 10 月 14 日

国土交通省道路局長 殿

利根町長 井原 正光



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

平成 20 年 9 月 19 日付け，国道企第 37 号での標記依頼の件につきましては，別紙のとおりです。

よろしくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

茨城県利根町

1 地域の現状・実情・特性を見据えての、よりきめ細やかな道路整備補助・促進援助

- ・当町のような鉄道網・国道網も無い町の交通体系は、県道並びに町道しかなく、道路整備に係る地域発展の依存度は鉄道駅舎・国道網のある市町村に比べて極めて大きいため、鉄道網・国道網の無い市町村への新たな補助制度・財政援助制度の創設。
- ・主要地方道(県道)へのアクセス道路(県道)ネットワーク充実度が地域の発展を大きく決定する要因となっているため、特別枠(新制度)をもつての促進援助。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

茨城県利根町

○現状

①主要地方道千葉・竜ヶ崎線栄橋付近の渋滞解消
(特に平日の朝夕及び土日祭日)

主要地方道千葉・竜ヶ崎線は龍ヶ崎市までは4車線ですが、利根町に入ると2車線になり、交通渋滞の要因になっている。

また、千葉県側の道路の形態も複雑なため渋滞の要因となっている。

若草大橋の開通に伴い1.7km区間は供用開始されておりますが、茨城・千葉両県共に主要道路との接続がされていないため、当初の予定より若草大橋の利用率が低く、また地域の発展を期待された道路としては進捗率が遅く早急な対応が望まれている。

②主要地方道取手東線市街地内(布川地内)の狭隘道路の解消

主要地方道取手東線は布川地内に入ると生活道路として機能しておりますが付近住宅と近接しているため車両通行時に振動等が発生し、沿線住民より苦情が寄せられている。

また、小学校の通学路に指定されているが、歩道が無いために、登下校時の交通安全面で危険にさらされている。

③ 主要道路未整備区間の整備促進及び生活道路の大規模改修

南北軸の生活幹線道路の町道112号線は、児童生徒の通学路としても指定されておりますが、歩道が無く日々の通学時に危険にさらされおり、交通安全面での問題を生じている。

町道103号線は供用開始時より年月の経過から老朽化し、車両通行時に振動等の発生があり苦情が寄せられている。

住宅団地内の生活道路が老朽化により舗装面にクラックが生じ、地域住民より苦情が寄せられている。

○課題

①茨城・千葉両県広域ネットワーク構築促進の取組み強化。

若草大橋の開通に伴う主要地方道美浦栄線バイパスの主要地方道竜ヶ崎潮来線への延伸、並びに千葉県側の北千葉道路(国道464号線)への延伸。

②主要地方道取手東線バイパスの早期事業実施。

③町道112号線及び103号線道路改良工事の整備促進
生活道路老朽化箇所の道路維持工事促進

今後の道路行政についての意見・提案

②－②地域の目指すべき将来像

様式③

茨城県利根町

自然・田園環境と都市機能がバランス良く調和した町土の上に、交通条件の向上効果を活かした新たな産業を含めて、農工商が相乗効果を及ぼし合いながら発展し、利根川を背景に町内外の人々が活発に交流し、町のなかに賑わいと活気がみなぎっているまち、そして若者が町に愛着を持って住み続け、乳児から高齢者まで誰もが安心して生きがいと真の豊かさを感じながらくらしているまち。誰もが安心して豊かに生活できる元気なまち。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施設の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

茨城県利根町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	主要地方道美浦栄線バイパスの促進	沿線市町村交通ネットワークの構築 地域経済の活性化, 沿線商工業地の発展	